

令和4年度 アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議

# 令和4年度 中心拠点病院の事業総括

国立成育医療研究センター アレルギーセンター

令和 5年 2月 13日 オンライン開催

# 中心拠点病院の事業

## ～国立成育医療研究センター～

- ・アレルギー疾患に係る医師に対する研修支援事業
- ・アレルギー疾患患者や家族等に対する相談事業
- ・アレルギー疾患医療診断等支援事業

# アレルギー疾患に係る医師に対する 研修支援事業

## **(A研修) 成育アレルギー中心拠点セミナーの開催**

- 毎月WEB開催へ（基礎・臨床の隔月）

## **(B研修) 小児アレルギー診療短期重点型教育研修**

- 実地研修参加者に対する、より充実した研修内容を構築  
（Total Allergist研修）

## **(CD研修) 専門修練研修**

- 総合アレルギー診療エキスパート育成、臨床研究論文・学位  
取得のサポート

# 中心拠点病院におけるB研修

## 「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」

### 【令和4年度の動向】

**令和2年3月** 全ての研修の受入れを中止するよう病院長通知

**令和2年度** 受入れを再開するもキャンセル等により1施設のみ参加

**令和3年度** 第6波等の理由により4施設で参加出来ず、10施設が参加

**令和4年度（今年度）**

通常通り募集開始し14名の医師が参加（うち都道府県拠点病院8施設）

（青森、秋田、富山、長野、大阪、広島、大分、宮崎）



# 中心拠点病院におけるB研修

## 「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」

	Day1	Day2	Day3	Day4	Day5
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月	火	水	木	金
8:00	カンファレンス	(8:30 チーム回診)	(8:30 チーム回診)	(センター長回診)	(8:30 チーム回診)
9:00	外来見学			外来見学	外来見学
10:00	アトピー教室*	喘息教室* (第4週)		食物アレルギー教室*	乳児教室*
11:00		食物負荷試験見学 または 外来見学 *負荷試験は午後 にも実施しています。 メンターにご確認下さい	食物負荷試験 (1名担当)		
12:00	外来見学			外来見学	外来見学
13:00					
14:00	皮膚テスト			気道過敏性試験など (第2, 4週) SLIT教室 (第1, 3, 5週)	病棟/レクチャー
15:00		食物負荷 帰宅時診察	食物負荷 帰宅時診察		
		病棟/レクチャー /負荷試験予習	病棟/レクチャー	病棟/レクチャー	ヒアリング(研修 担当)
16:00	ガイダンス(メン ター)				
	回診	輪読会	(チーム回診)	病棟カンファレンス	ジャーナルクラブ
17:00		(チーム回診)			回診

	Day6	Day7	Day8	Day9	Day10
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	月	火	水	木	金
8:00	カンファレンス	(8:30 チーム回診)	(8:30 チーム回診)	(センター長回診)	(8:30 チーム回診)
9:00				外来見学 初診問診	
10:00		喘息教室* (第4週)			
11:00	食物負荷試験 (2名担当) または 外来見学	食物負荷試験 (2名担当) または 外来見学	食物負荷試験 (2名担当)		食物負荷試験 (2名担当)
12:00					
13:00					
14:00	皮膚テスト			気道過敏性試験など (第2, 4週) SLIT教室 (第1, 3, 5週)	食物負荷 帰宅時診察
15:00		食物負荷 帰宅時診察	食物負荷 帰宅時診察		病棟/レクチャー
		病棟/レクチャー /負荷試験予習	病棟/レクチャー	病棟/レクチャー	ヒアリング(研修 担当)
16:00	病棟/レクチャー			病棟/レクチャー	
	回診	輪読会	(チーム回診)	病棟カンファレンス	ジャーナルクラブ
17:00		(チーム回診)			回診

\* 教室は 現在、E-learningで実施中

9-17時 研修必須

月・火・木・金  
疾患別初診  
教室参加後に本診

総合アレルギー科行事

休憩

新型コロナウイルス感染拡大の状況下、  
全員が全日程を修了された

# 動画研修資材

限定付き動画配信により、短期研修参加者は自由に閲覧可能。継続的な学習効果を狙います。

- **研修機会の得られにくい手技に関する研修動画**

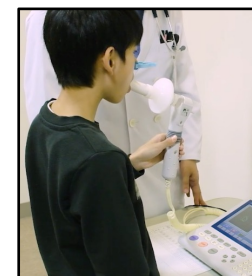
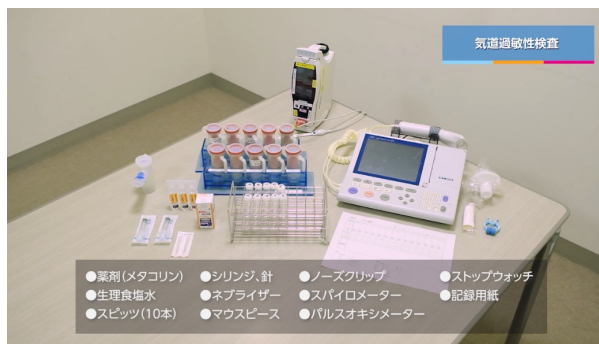
(ダブルブラインド法食物経口負荷試験、メタコリン吸入試験、FPIESコンセンサスガイドライン解説、蒸しパン作成法)

- **重要度の高い研修項目に関する研修動画**

(食物経口負荷試験、皮膚プリックテスト、気管支喘息ガイドライン2020解説、アトピー性皮膚炎診療の基本、アナフィラキシー診療について、スパーサー+pMDIによる吸入手技の指導法)

- **アレルギーセンターJournal Club動画ライブラリー**

(トピックスをテーマに、最新情報を毎週センター医師が詳細に解説)

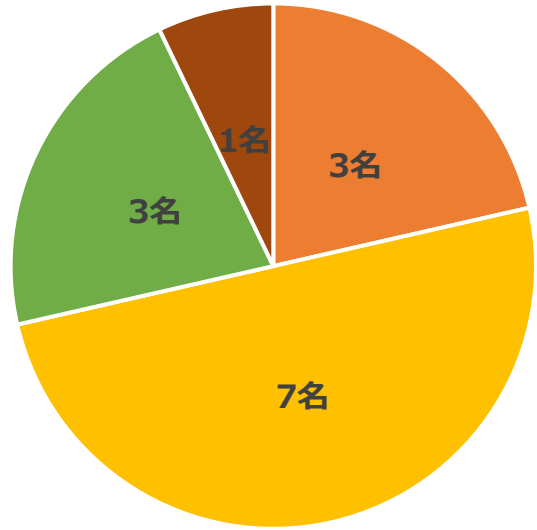


国立成育医療研究センターアレルギーセンター  
「小児アレルギー診療短期重点型教育研修プログラム」研修動画より

昨年度までと比べて、  
遠方（関東地方以外）からの  
参加者が増加

# 研修参加者の背景

## 研修参加者の年齢



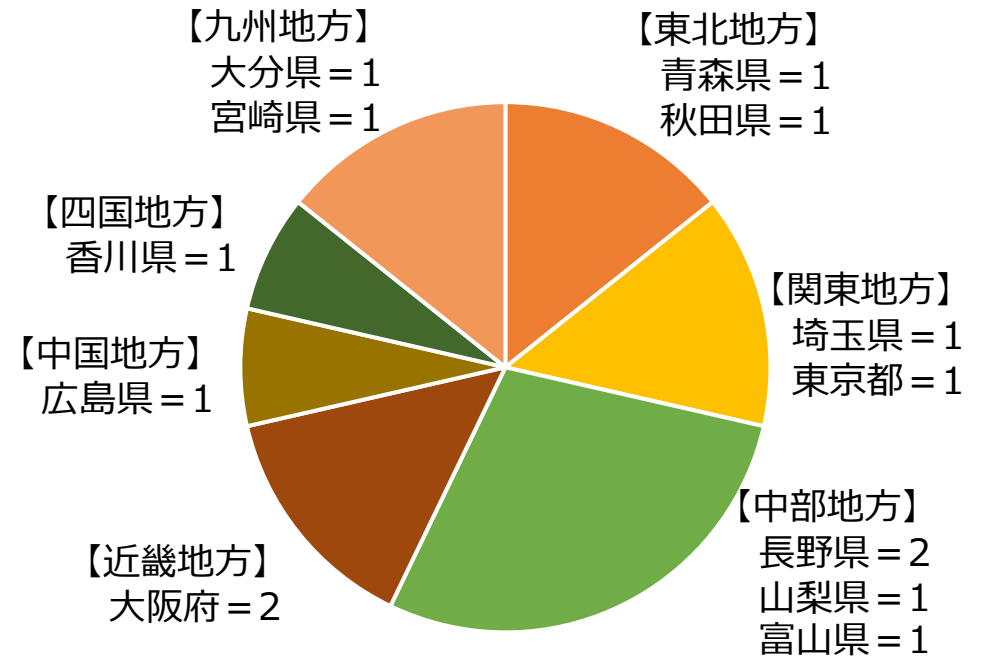
■ 30歳以下 ■ 31-35歳 ■ 36-40歳 ■ 41歳以上

<専門医資格の有無>

小児科専門医 = 10名 (71%)

アレルギー専門医 = 1名 (7%)

## 研修参加者 所属施設の所在地域



■ 東北地方 ■ 関東地方 ■ 中部地方 ■ 近畿地方  
■ 中国地方 ■ 四国地方 ■ 九州地方

拠点病院医師にくわえ一般応募として計**14名**の医師が研修実施

※拠点病院関連施設からの参加者は研修費無料

# 研修結果の評価（1）「知識・技能」

## 食物アレルギー

- 2A-1 食物アレルギー患者の問診を行い、経口摂取による即時型反応と、それ以外を区別して記録することができる
- 2A-2 特異的IgE・皮膚テスト・食物負荷試験の検査の精度の違いについて説明できる
- 2A-3 皮膚プリックテストを実施し、制限解除が可能な食品の選択ができる
- 2A-4 アレルゲンコンポーネントに基づいた診断ができる
- 2A-5 食物経口負荷試験（模擬）を行う患者へ、指示書での説明と同意書取得ができる
- 2A-6 食物経口負荷試験患者への給食オーダー、入院指示簿、処置、投薬準備を行うことができる
- 2A-7 病棟で負荷試験担当看護師が準備している物品と補助業務内容を認識する
- 2A-8 1日2～3例の負荷試験症例の予診・食品準備・カルテ記載・病室の物品確認ができる
- 2A-9 1日2～3例の負荷試験症例の観察、チャート記載、即時反応への対応を行うことができる
- 2A-10 二重盲検法による食物経口負荷試験の実施を補助することができる
- 2A-11 即時型反応の可能性が低い食品の摂取継続や制限解除をする場合の、患者への注意事項を挙げることができる
- 2A-12 即時型反応の可能性が残る食品の摂取継続や制限解除をする場合の、患者への注意事項を挙げることができる
- 2A-13 食物経口負荷試験の結果が陰性であった食品の除去解除について、方針を提案することができる
- 2A-14 即時型反応を疑う症状・緊急時薬剤・受診目安を患者・家族に指導できる
- 2A-15 エピペン® の適応、適切な規格選択、一般的な使用のタイミングについて説明できる
- 2A-16 エピペン® について、同意文書取得・処方医登録の規定と、保険診療上のコストを理解する
- 2A-17 エピペン® の使用法の説明ができる

## アトピー性皮膚炎

- 2A-18 アトピー性皮膚炎の診断基準を説明できる
- 2A-19 アトピー性皮膚炎のバリア機能障害について説明できる
- 2A-20 アトピー性皮膚炎の重症度評価ができる
- 2A-21 アトピー性皮膚炎のスキンケア法（石鹸洗浄、軟膏塗布）の指導ができる
- 2A-22 アトピー性皮膚炎の薬物療法と、起こりうる副作用、副作用を回避する使用方法を説明できる
- 2A-23 プロアクティブ・寛解維持療法の概念について説明できる
- 2A-24 アトピー性皮膚炎の悪化因子とその対策について説明できる
- 2A-25 アレルゲン二重曝露仮説の理論を説明することができる

## 喘息・アレルギー性鼻炎

- 2A-26 気管支喘息の定義・診断基準・鑑別疾患について説明できる
- 2A-27 気管支喘息の重症度とコントロール状態を評価できる
- 2A-28 気管支喘息の悪化因子を挙げられる
- 2A-29 フローボリューム曲線の測定を正しく行い、呼吸機能検査の結果について患者（保護者）に説明ができる
- 2A-30 呼気NO測定を正しく行い、結果を患者（保護者）に説明できる
- 2A-31 気道過敏性検査を行うことができる
- 2A-32 重症度に応じた気管支喘息の長期管理薬を選択できる
- 2A-33（気管支喘息の急性増悪予防のための）環境整備について指導できる
- 2A-34 患者の年齢に応じた吸入デバイスの選択と、気管支喘息の吸入療法について、患者（保護者）に指導ができる
- 2A-35 気管支喘息における急性増悪時の対応を患者（保護者）に指導できる
- 2A-36 舌下免疫療法について、効果、副作用、服用法の説明ができる

## 消化管アレルギー

- 2A-37 消化管アレルギーの分類を説明できる
- 2A-38 消化管アレルギーの診断法や鑑別疾患を説明できる
- 2A-39 消化管アレルギーの検査（経口負荷試験を含む）について説明できる
- 2A-40 消化管アレルギーの管理法について説明できる

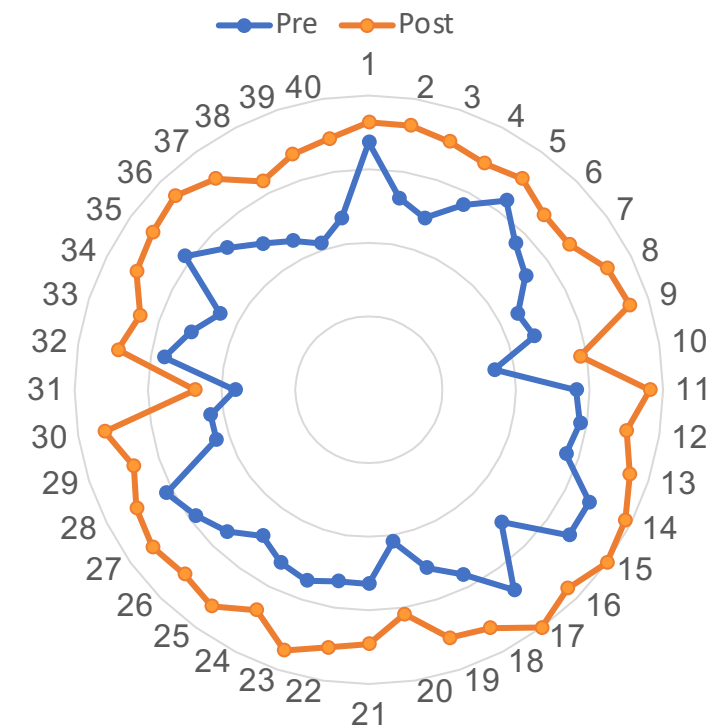
### 研修評価方法

Kirkpatrickの4段階評価概念に基づき

- ・反応（満足度）評価
- ・学習（知識スキル）評価
- ・行動（実際の行動変容）評価  
について参加者により評価

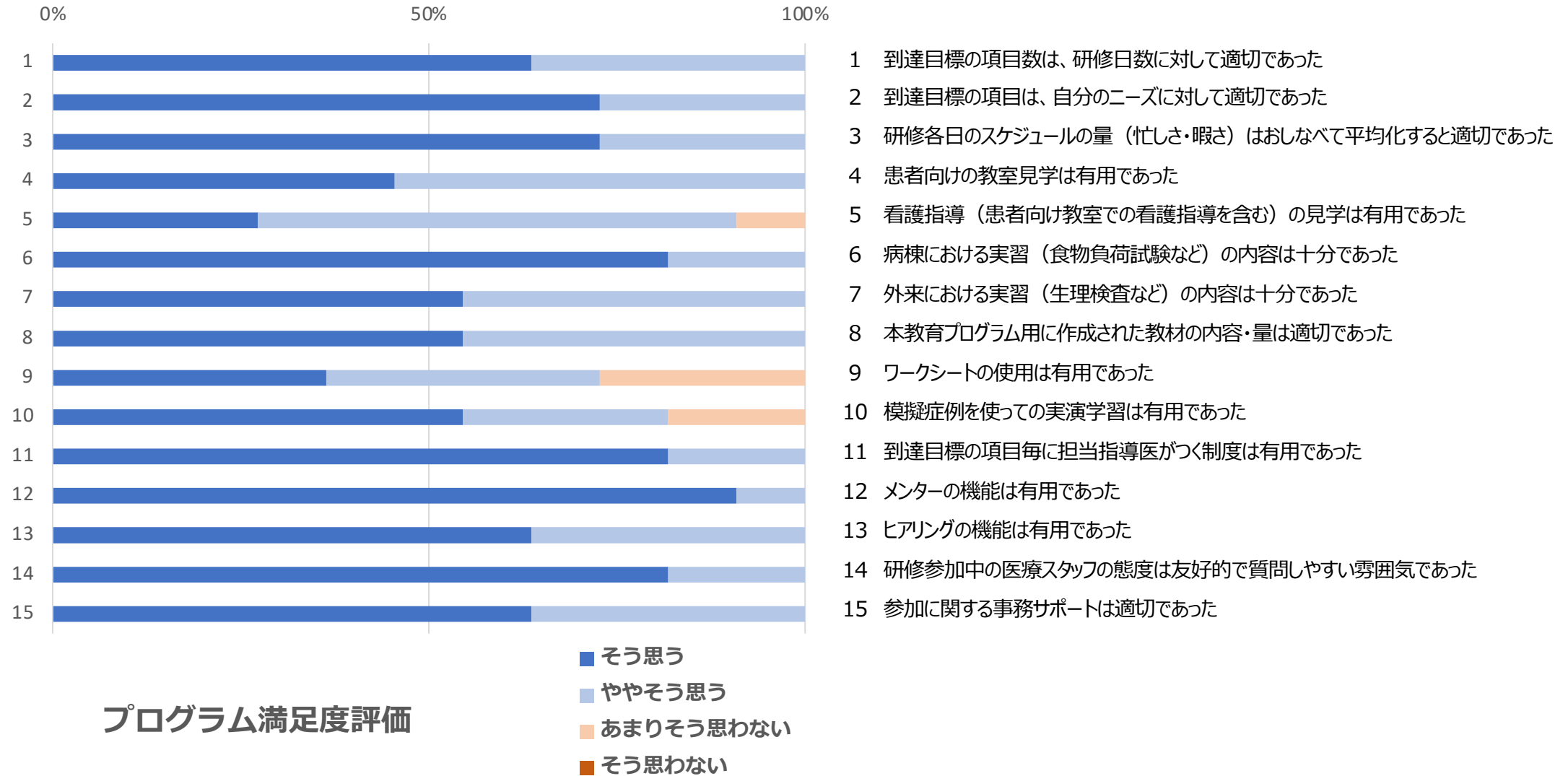
（研修前・終了時・研修6か月後）

### 知識や技能に関する40の評価項目





# 研修結果の評価（2） 「プログラム満足度」



# 研修結果の評価（2）「プログラム満足度」

0%

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15

## 【その他いただいたご感想】

- 期待以上の研修になりました。先生方の教育に対する熱意がとても高く、こちらからの質問にも気さくに詳しく教えて頂きました。
- 外来見学が一番勉強になり、新たな知識を根拠とともに熟練した先生方から次々と聞ける機会はこのような研修でしかないと思いました。
- アレルギー疾患の診断や治療、具体的な指導法について学ぶことができました。自宅でも実践できるように丁寧で具体的な指導を行い、患者背景を考えながら個々の増悪因子それぞれに対応していた先生方の姿が印象的でした。
- 基本的なことから最新の動向について系統的講義も多数してくださり、大変勉強になりました。2週間とは思えないほど密度の濃い有意義な時間を過ごさせていただいたと感じます。
- 入院・外来患者の管理・方針決定などについて大変勉強になり、早速日常診療で活用していきたいと感じることが多くありました。
- 研修が進むにつれてもっといろいろなことが知りたくなり、あれもこれも教えていただきたいことばかりでしたが、10日間があつという間に終わってしまいました。

など

切であった

プ

# その他の研修事業（A研修①）

## 国立成育医療研究センター 第27回アレルギー臨床懇話会のご案内

（東京都アレルギー疾患医療拠点病院 アレルギー疾患治療専門研修委託）

今回のアレルギー臨床懇話会では特別講演2題をご用意致しました。  
歯科の五十川伸崇先生からは歯科治療におけるアナフィラキシーに関する話題を、後半は日本アレルギー学会理事長・日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会委員長でいらっしゃる海老澤元宏先生より食物アレルギーに関する最新の話題について、新しく発表されたガイドラインの臨床現場での活用方法を含めてお話し頂きます。大変貴重な聴講の機会ですので、ぜひ多数の先生方、メディカルスタッフの方々のご参加をお待ちしております。

**対象** 子どものアレルギーに関心のある医療従事者

**日時** 2022年8月25日（木） 19:00 ～ 20:30

**会場** WEB開催（Zoomウェビナーでのライブ配信）

配信会場：国立成育医療研究センター研究所2階 セミナールーム

開会の辞

津田 正彦 先生

特別講演1 19:00～19:30 座長：吉川 弘二 先生・小林 俊夫 先生

『歯科治療とアナフィラキシー』

小児外科系専門診療部 歯科医長 五十川伸崇 先生

特別講演2 19:30～20:30 座長：大矢 幸弘 先生

『食物アレルギー診療ガイドラインの臨床現場での活用方法』

国立病院機構相模原病院  
臨床研究センター センター長 海老澤元宏 先生

閉会の辞

笹本 明義 先生

※取得単位：日本小児科学会専門医 新更新単位iii（小児科領域講習）1単位  
日本アレルギー学会専門医制度 2単位  
日本医師会生涯教育制度 1.5単位（CC：0、16）

※事前のお申し込みが必須となっております。申込方法は裏面ご参照ください。  
先着500名様までとさせていただきます。

<代表世話人> 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 大矢幸弘  
<事務局> 福家 豊國 早瀬（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）  
〒157-8535東京都世田谷区大蔵2-10-1  
電話：03-3416-0611 E-mail: allergy@ncchd.go.jp

主催：国立成育医療研究センターアレルギー臨床懇話会

## 第27回成育アレルギー臨床懇話会

令和4年8月25日（木）  
Zoomウェビナーによる  
ライブ配信

特別講演：

国立成育医療研究センター 歯科医長  
五十川伸崇 先生

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター センター長  
海老澤 元宏 先生

※東京都アレルギー疾患医療拠点病院として開催

# その他の研修事業（A研修②）

## 成育アレルギー中心拠点病院 オンラインセミナー

月1回開催

臨床分野と基礎分野が隔日で担当

- 臨床（アレルギー臨床勉強会）  
担当：国立成育医療研究センター アレルギーセンター
- 基礎（免疫アレルギーTerakoya勉強会）  
担当：国立成育医療研究センター 免疫アレルギー研究部

2022年度  
医療従事者向け  
無料セミナー

成育アレルギー中心拠点病院オンラインセミナー



主催：成育アレルギー中心拠点セミナー事務局

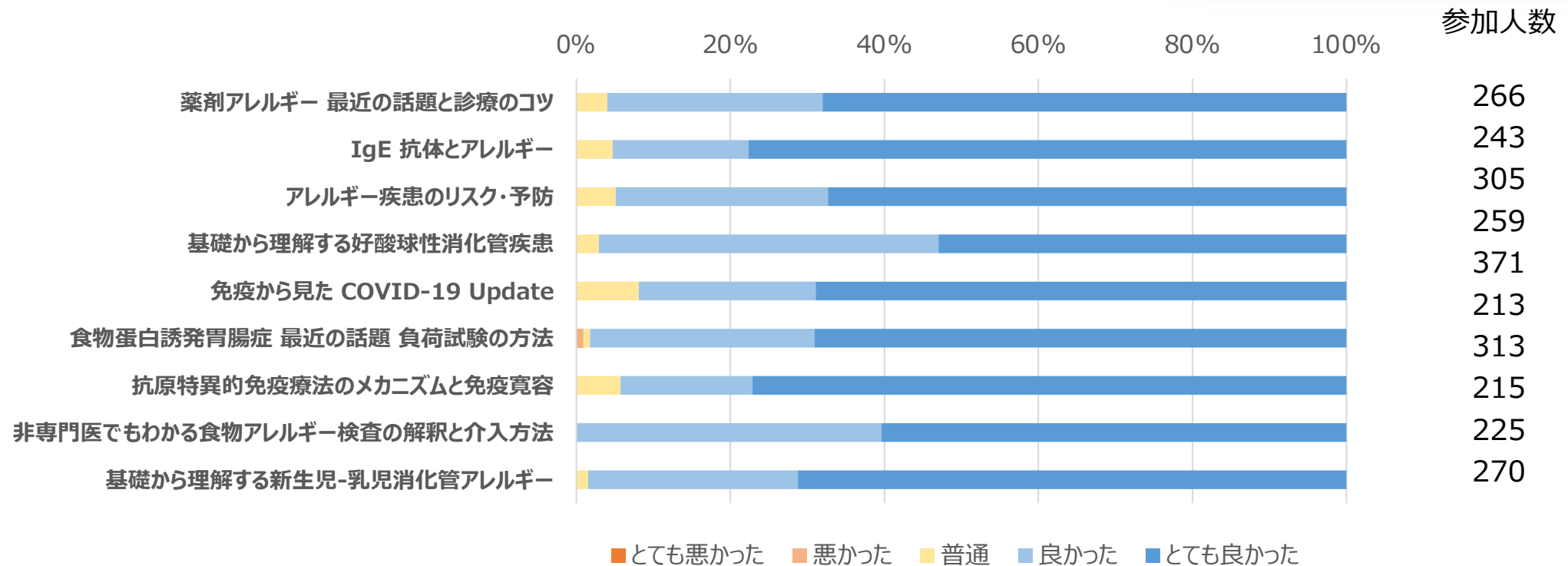


- 4/21（木）アレルギー臨床勉強会「**薬剤アレルギー 最近の話題と診療のコツ**」  
国立成育医療研究センター アレルギーセンター 榊島重徳/平井聖子
- 5/19（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**IgE抗体とアレルギー**」  
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 森田英明
- 6/16（木）アレルギー臨床勉強会「**アレルギー疾患のリスク・予防**」  
国立成育医療研究センター アレルギーセンター 山本貴和子/齋藤麻耶子
- 7/14（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**基礎から理解する好酸球性消化管疾患**」  
国立成育医療研究センター 好酸球性消化管疾患研究室 野村伊知郎
- 8/25（木）「第27回 成育アレルギー臨床懇話会」  
第1部「**歯科治療とアナフィラキシー**」  
国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 歯科 五十川伸崇  
第2部「**食物アレルギー診療ガイドラインの臨床現場での活用方法**」  
国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 海老澤元宏
- 9/8（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**免疫から見たCOVID-19 Update**」  
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 松本健治
- 10/27（木）アレルギー臨床勉強会「**食物蛋白誘発胃腸症 最近の話題 負荷試験の方法**」  
国立成育医療研究センター アレルギーセンター 佐藤未織/豊國賢治
- 11/17（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**抗原特異的免疫療法のメカニズムと免疫寛容**」  
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 森田英明
- 12/22（木）アレルギー臨床勉強会「**非専門医でもわかる食物アレルギー検査の解釈と介入方法**」  
国立成育医療研究センター アレルギーセンター 福家辰樹/石川史
- 1/19（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**基礎から理解する新生児・乳児消化管アレルギー**」  
国立成育医療研究センター 好酸球性消化管疾患研究室 野村伊知郎
- 2/16（木）アレルギー臨床勉強会「**行動医学によるアレルギー診療**」  
国立成育医療研究センター アレルギーセンター 大矢幸弘
- 3/9（木）免疫アレルギーTerakoya勉強会「**自然免疫系とアレルギー**」  
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 松本健治



# その他の研修事業（A研修②）

## 成育アレルギー中心拠点病院 オンラインセミナー



# マタニティオンライン教室



## 「生まれてくるお子さんのためのアレルギー予防オンライン教室」

### インターネット情報に振り回されていませんか?!

アレルギー疾患をもつお子さんが増えてきています。妊娠中から正しいアレルギーの知識を身につけることが大切です。最近の研究情報からアレルギーに関する正しい知識を学び、お子さんのアレルギー疾患発症予防や早期発見に役立てるためのオンライン教室を開催しています。

**開催日時** 毎月第3金曜日 14時～15時

**講師** 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 医師

**開催方法** Microsoft TeamsによるWeb開催。

お申込みいただいた方へURLのご案内をさせていただきます。

**参加対象者** ・妊婦さんとそのパートナーの方  
・出産やお子さんに関わる職種の方（オブザーバーとしてご参加ください）

#### 定員に達した場合

- ・当センターでご出産の方を優先させていただきますことご了承ください。
- ・ご希望の回にご参加頂けない場合には、事務局より他の回の日程をご案内させていただきます。

**申込方法** 下記QRコードよりアクセスし、申込フォームにてお申込みをお願いいたします。



- ◆URLをお知らせさせていただいた方以外にご参加いただけませんのでご容赦ください。
- ◆参加費は無料です。
- ◆当院HP「アレルギーセンター」ページ内「お知らせ」からもアクセスいただけます。

※ご不明点がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### <問合せ先>

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター 研究事務局  
TEL:03-3416-0611  
E-mail:allergy\_research@nochd.go.jp

みなさまのご参加をお待ちしています!



妊娠中から正しいアレルギーに関する正しい知識を学び、お子さんのアレルギー疾患発症予防や早期発見に役立てるためのオンライン教室を開催しています。

### アレルギーポータル



### 研修・講習会・eラーニング 行政・学校関係者の方向け

#### 食物アレルギーセミナー ～共に創ろう 笑顔あふれる 食の未来～（2022年度）

栄養士・食従事者の方向けのセミナーで、3/5（日）13:00から予定されています。オンライン、会場参加とも、申込は2/24（金）締切となっています。

[くわしく見る](#)

#### アレルギー 相談員養成研修会

アレルギー疾患に関して患者やその家族と接する機会が多いアレルギー専門医以外の医師、看護師、保健師、薬剤師、栄養士などを対象としています。

[くわしく見る](#)

#### 食物アレルギーセミナー “安全で安心な 子どもの笑顔 を守る 食の未来”（2022年 度）

保育者の方向けのセミナーで、11/27（日）12:30から予定されています。Web参加、会場参加とも、申込は11/8（火）締切となっています。

[くわしく見る](#)

#### 生まれてくるお子さんのためのアレルギー予防 オンライン教室

妊娠中から正しいアレルギーに関する知識を身につけていただくため、定期的に開催されています。主に妊婦さんとそのパートナーの方が対象となっています。

[くわしく見る](#)

#### 文部科学省補助事業 アレルギー講習会 （学校における普及啓発講習会）

学校現場においてのアレルギー対応の充実を図るための講習会です。

[くわしく見る](#)

#### 食物アレルギーによって 起こる症状と治療について

食物アレルギーの症状とその治療法を学ぶ研修用スライドです。アナフィラキシーに対処するための動画も掲載されています。

[ダウンロードする](#)

# マタニティオンライン教室



## 「生まれてくるお子さんのための アレルギー予防オンライン教室」

### インターネット情報に振り回されていませんか!?

アレルギー疾患をもつお子さんが増えてきています。  
妊娠中から正しいアレルギーの知識を身につけることが大切です。  
最近の研究情報からアレルギーに関する正しい知識を学び、お子さんのアレルギー疾患  
発症予防や早期発見に役立つためのオンライン教室を開催しています。

**開催日時** 毎月第3金曜日 14時~15時

**講師** 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 医師

**開催方法** Microsoft TeamsによるWeb開催。

お申込みいただいた方へURLのご案内をさせていただきます。

**参加対象者** ・妊婦さんとそのパートナーの方  
・出産やお子さんに関わる職種の方（オブザーバーとしてご参加ください）

#### 定員に達した場合

- ・当センターでご出産の方を優先させていただきますことご了承下さい。
- ・ご希望の回にご参加頂けない場合には、事務局より他の回の日程をご案内させていただきます。

**申込方法** 下記QRコードよりアクセスし、申込フォームにてお申込みをお願いいたします。



- ◆URLをお知らせさせていただいた方以外にご参加いただけませんのでご容赦ください。
- ◆参加費は無料です。
- ◆当院HP「アレルギーセンター」ページ内「お知らせ」からもアクセスいただけます。

※ご不明点がございましたら、下記までお問い合わせください。

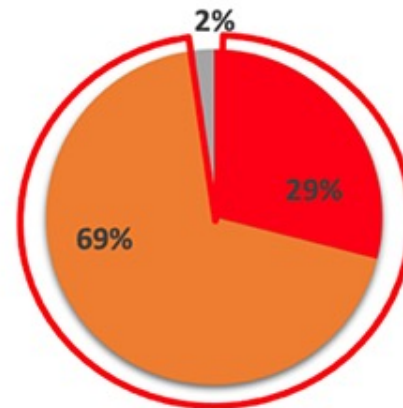
<問合せ先>  
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター 研究事務局  
TEL:03-3416-0611  
E-mail:allergy\_research@nochd.go.jp

みなさまのご参加を  
お待ちしております!



妊娠中から正しいアレルギーに関する正しい知識を学び、  
お子さんのアレルギー疾患発症予防や早期発見に役立つ  
ためのオンライン教室を開催しています。

## 生まれてくる子が アレルギーになるかどうか心配ですか？



98%が心配

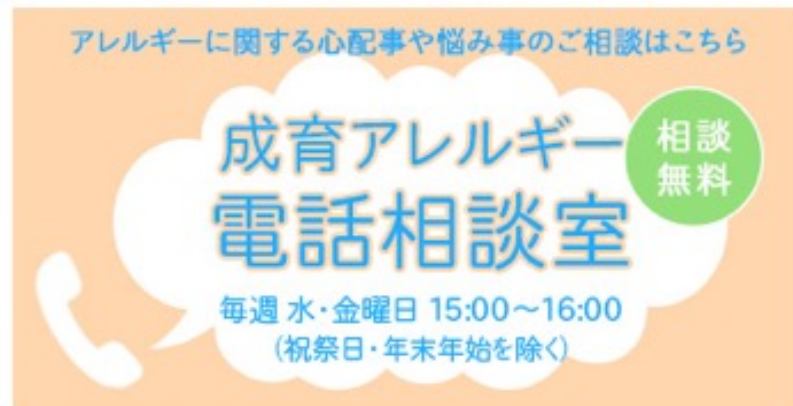
■とても心配 ■心配 ■心配でない

1位	アトピー性皮膚炎	76人
2位	食物アレルギー	73人
3位	喘息	55人
4位	鼻炎	43人
5位	蕁麻疹	19人

# アレルギー疾患電話相談事業

## 【概要】

- アレルギー疾患に係る患者・家族からの電話相談事業
- 医師による、週2回、1回1時間の電話相談
- 相談時間は1回につき15分以内とする



- ✓専用電話回線を設置
- ✓通話内容は当センター「通話記録運用規程」に従い録音
- ✓相談内容は当センター「個人情報及び特定個人情報の保護に関する規定」に基づき記録、保管（専用ソフト開発：情報管理部）



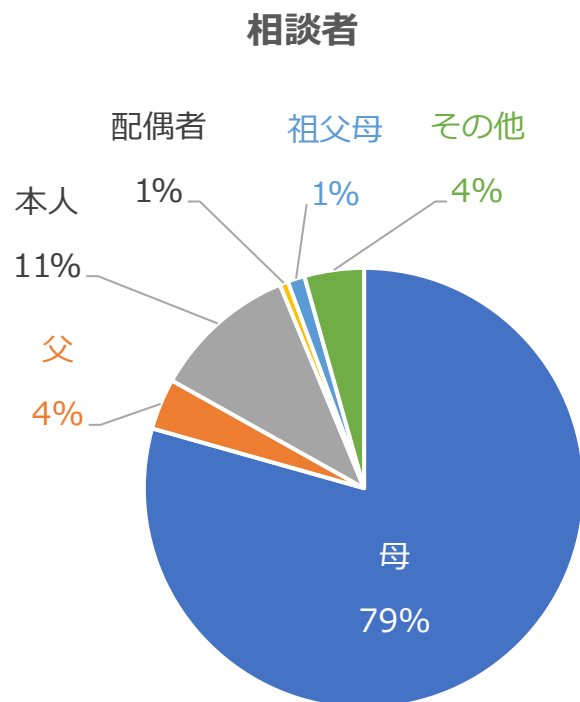
# 電話相談事業 2022年の実績



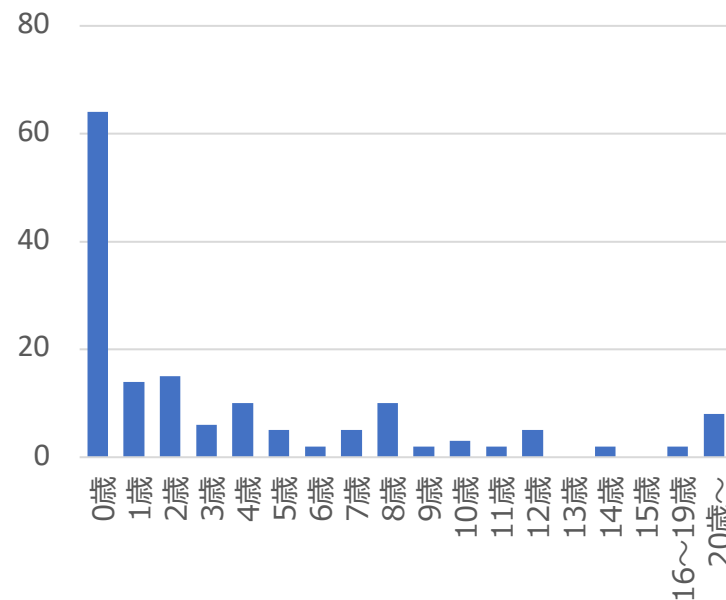
期間：2022年1月1日～12月31日の12か月間

相談件数：約 160 件

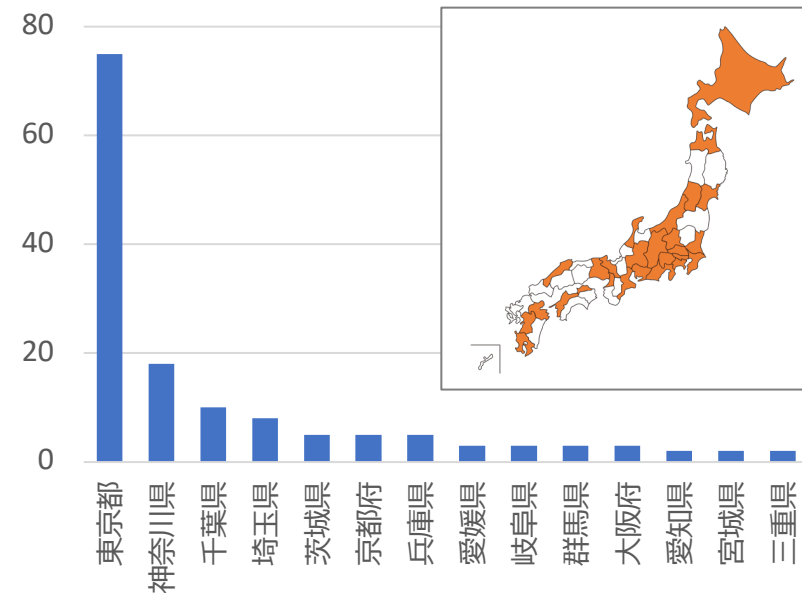
## 相談者の背景



## 相談したい方の年齢



## 相談者の都道府県



27都道府県から相談あり

# 電話相談事業 2022年の実績

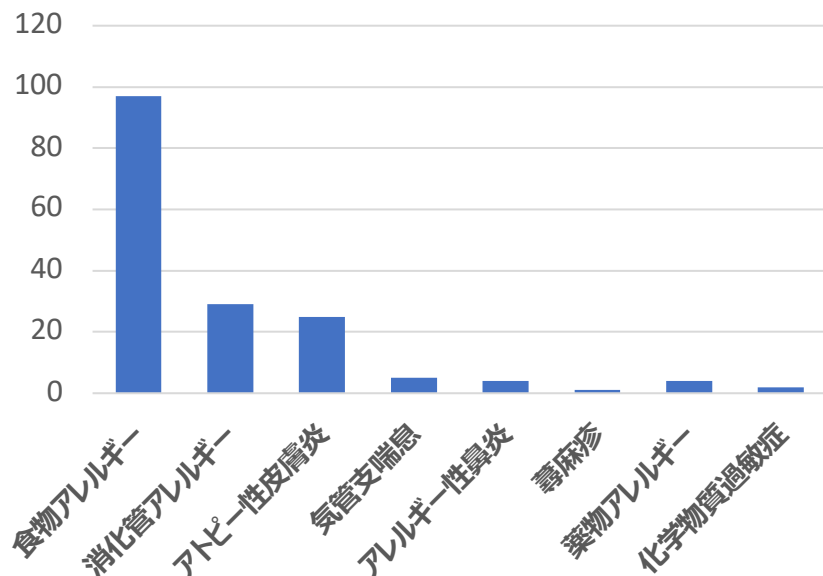


期間：2022年1月1日～12月31日の12か月間

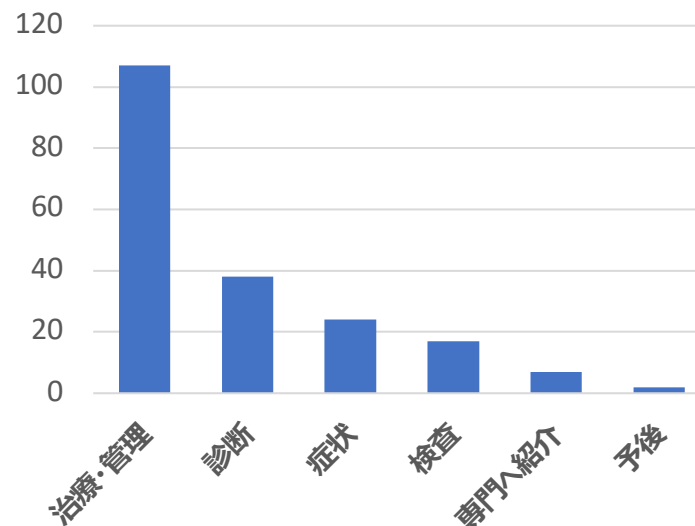
相談件数：約 160 件

## 相談結果

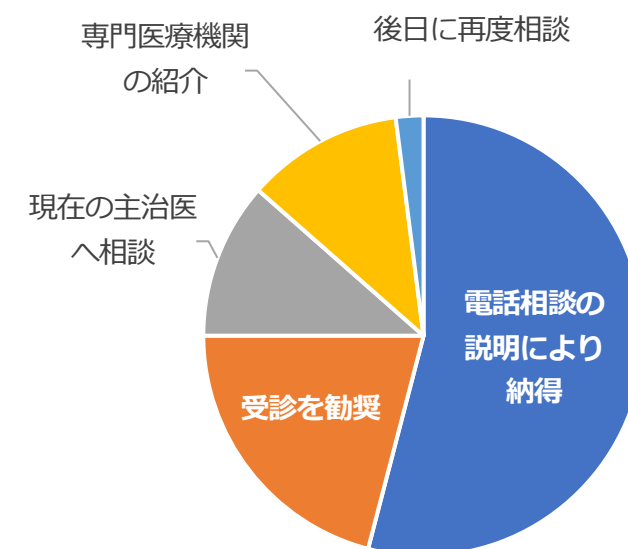
相談疾患



相談内容



相談結果



# 本年度事業のまとめ

## アレルギー疾患対策基本指針改正のポイント

事項	項目	改正の概要
第1	アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な事項	○アレルギー疾患のコントロールのために、アレルギー回避だけでなく、免疫寛容の誘導も考慮に入れた環境の改善を図る。
第2	アレルギー疾患に関する啓発及び知識の普及並びにアレルギー疾患の予防のための施策に関する事項	○アレルギー疾患に関する情報について <u>出生前から保護者等への普及啓発活動</u> に取り組む。 ○外食・中食における食物アレルギー表示については、消費者の需要や誤食事故等の実態等に基づき、適切な情報提供に関する取組等を積極的に推進する。
第3	アレルギー疾患医療を提供する体制の確保に関する事項	○専門的な取組をより推進するため、 <u>医療従事者として、「歯科医師」「管理栄養士」</u> を明記する。 ○「アレルギー疾患医療提供体制の在り方に関する検討会」の検討結果に基づく医療提供体制を整備する。 ○都道府県拠点病院等は適切な情報の提供、アレルギー疾患医療に関する専門的な知識と技術を有する医療従事者の育成等の推進に協力する。
第4	アレルギー疾患に関する調査及び研究に関する事項	○免疫アレルギー疾患の特性に注目した研究等を盛り込んだ「免疫アレルギー疾患研究10か年戦略」に基づくアレルギー疾患研究を推進する。 ○長期的な疾患管理を十分に行う等の観点から、患者の視点に立った研究を推進する。
第5	その他アレルギー疾患対策の推進に関する重要事項	○国は、アレルギー疾患を有する者が適切なアレルギー疾患医療を受けながら、本人又はその家族が就労を維持できるような環境の整備等に関する施策について各事業者団体に対し、周知を図る。 ○地方公共団体は、都道府県アレルギー疾患医療連絡協議会等を通じて地域の実情を把握し、都道府県拠点病院等を中心とした診療連携体制や情報提供等、アレルギー疾患対策の施策を策定及び実施するよう努める。

- **アレルギー疾患に係る医師に対する研修支援事業を通常再開**
- **A研修を拡充、毎月オンライン開催**
- **令和3年度基本指針改正に伴い、**
  - ✓ **マタニティオンライン教室を活用した、「出生前から」保護者等への適切な情報提供への取組み**
  - ✓ **アレルギー疾患医療提供体制に関わる医療従事者としての「歯科医師」を対象とした研修を開催**

「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針の一部を改正する件について」（健発0314第2号 令和4年3月14日）

厚生労働省健康局がん・疾病対策課 2021年度「アレルギー疾患対策の取組の現状」



国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター

# 小児アレルギー診療短期重点型 教育研修プログラム

2023年度 研修 3月募集開始予定



## 小児診療医のための10日間実践研修

### 研修内容

さまざまな食物経口負荷試験  
乳児期から始める患者指導  
診断に迷った時の生理機能検査の実際

最新の知見に基づく充実したプログラムをご用意し  
アレルギー診療における質の向上をめざす  
熱意あふれる先生方のご参加をお待ちしています

**研修期間** 10日間（土日を除く2週間）  
**応募期間** 2023年3月～募集開始予定  
**実施期間** 2023年6月～2024年3月

\* 国立成育医療研究センターアレルギーセンター公式ホームページ（医療従事者向け）にて詳細をご確認ください

（右は2022年度現在）

